

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4975753号
(P4975753)

(45) 発行日 平成24年7月11日(2012.7.11)

(24) 登録日 平成24年4月20日(2012.4.20)

(51) Int.Cl.

F I

B 6 5 D 5/44 (2006.01)

B 6 5 D 5/44 J

B 6 5 D 5/42 (2006.01)

B 6 5 D 5/42 D

請求項の数 16 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2008-538475 (P2008-538475)	(73) 特許権者	508135172
(86) (22) 出願日	平成18年10月31日(2006.10.31)		マックアルビン, ジルロイ クレメンツ
(65) 公表番号	特表2009-514745 (P2009-514745A)		南アフリカ共和国, 1501 ベノニ, レ
(43) 公表日	平成21年4月9日(2009.4.9)		イクフィールド, トルクエイ ストリート
(86) 国際出願番号	PCT/IB2006/054022		84
(87) 国際公開番号	W02007/052215	(74) 代理人	100094112
(87) 国際公開日	平成19年5月10日(2007.5.10)		弁理士 岡部 譲
審査請求日	平成21年10月29日(2009.10.29)	(74) 代理人	100064447
(31) 優先権主張番号	2005/08904		弁理士 岡部 正夫
(32) 優先日	平成17年11月3日(2005.11.3)	(74) 代理人	100085176
(33) 優先権主張国	南アフリカ(ZA)		弁理士 加藤 伸晃
		(74) 代理人	100096943
			弁理士 臼井 伸一
		(74) 代理人	100101498
			弁理士 越智 隆夫

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スライド及びクリップインコーナ支持体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器と共に用いるのに適した補強コーナポストにおいて、該容器は、底部パネルと、一対の対向する側壁パネル、及び一対の対向する端壁パネルを有する折り畳み式ブランクから成り、前記側壁パネル及び前記端壁パネルは、対向する側壁及び端壁を画定して該側壁及び該端壁の接合部にコーナが形成されるように前記底部パネルに対して直立位置に折り曲げ可能であり、該補強コーナポストは、前記容器の全ての又は選択されたコーナに設けられる、補強コーナポストであって、前記コーナを囲む外側ポストセクションと、該コーナ内に収まる内側ポストセクションと、該外側ポストセクション及び該内側ポストセクションの互いに対する係合位置への長手方向変位によって該外側ポストセクション及び該内側ポストセクションを互いに解除可能に結合する係合手段とを備え、前記補強コーナポストは、さらに、前記外側ポストセクションと前記内側ポストセクションとの間の相対的な長手方向変位を防止するために前記内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションを前記係合位置で固定するディスクすなわちプレートの形状をした取り外し可能なロッキング手段を備え、前記取り外し可能なロッキング手段は、前記外側ポストセクションと前記内側ポストセクションとが互いから変位できるように前記外側ポストセクションと前記内側ポストセクションとを解除するために、移動可能であることを特徴とする、補強コーナポスト。

【請求項2】

前記内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションはそれぞれ、互いに対して角

度を成してコーナ形成部を画定するように長手方向接合部で合わさるほぼ平面状の長手方向延出リーフ要素を有する、請求項 1 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 3】

前記リーフ要素は、横断方向補強リブ及び／又は長手方向補強リブを含む、請求項 2 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 4】

前記係合手段は、一方のポストセクションから延びており、前記内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションが長手方向に相対変位すると他方のポストセクションの相補的な形成部と係合する舌要素を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の補強コーナポスト。

10

【請求項 5】

前記舌形成部は、前記内側ポストセクションから外方に延びると共に前記外側ポストセクションに設けられる対応する長手方向スロットと係合する、請求項 4 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 6】

前記舌形成部は、前記内側ポストセクションから延び、該舌形成部のそれぞれが、前記内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションが前記係合位置に長手方向に相対変位すると前記外側ポストセクションの対応するスロットによって係止保持されるようになっているヘッド形成部で終わる、請求項 4 又は 5 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 7】

20

前記舌形成部の前記ヘッド形成部と係合する前記スロットの少なくともいくつかは、舌形成部をスロット形成部内のより深くまで引き込むように働くランプセクションを含む、請求項 6 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 8】

前記内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションは、該内側ポストセクション及び該外側ポストセクションに囲まれる前記容器のコーナを挟むように互いに引き寄せられる、請求項 7 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 9】

前記外側ポストセクションに、前記容器の前記コーナの下に延びようになっている下面プラットフォーム構造体が設けられ、該下面プラットフォーム構造体に、前記内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションが前記係合位置になると前記内側ポストセクションの対応する係合形成部によって係合される係合形成部が設けられる、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の補強コーナポスト。

30

【請求項 10】

前記プラットフォーム構造体の前記係合形成部は、本質的に使用時にスピゴット(spigot)を受け入れる 1 つ又は複数の開口であり、該スピゴットは、前記内側ポストセクションから延びると共に、前記開口内に留まる (clip) 外向きカラーを有する、請求項 9 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 11】

前記内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションを前記係合位置に固定する前記ロッキング手段は、前記外側ポストセクションの内周に従う溝路内に受け入れ可能なディスクを含み、該ディスクに前記内側ポストセクションが当接して、該内側ポストセクション及び前記外側ポストセクションの間の長手方向相対変位が防止される、請求項 1 に記載の補強コーナポスト。

40

【請求項 12】

前記ロッキング手段に、前記補強コーナポストの所定位置に前記ディスクをロックする保持手段が設けられる、請求項 11 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 13】

前記ロッキング手段は、前記溝路に設けられる段構造体と係合するフック形成部を含む、請求項 12 に記載の補強コーナポスト。

50

【請求項 1 4】

前記ディスクは、前記内側ポストセクションの直立スピゴット形成部が通って延びると共に、スナップ型ロック作用で係合する開口を有する、請求項 1 1 に記載の補強コーナポスト。

【請求項 1 5】

前記外側ポストセクションは、前記容器の上面よりも上に突出して上に重なる容器の下側区域を受け入れ可能であるスタッキングコーナを構成するようにする上側延長部を含む、請求項 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の補強コーナポスト。

【請求項 1 6】

請求項 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の補強コーナポストを有する容器。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0 0 0 1】**

本発明は、容器及び組み立て構成で容器と共に用いられる補強コーナポストに関する。

【背景技術】**【0 0 0 2】**

様々な折り畳み式容器が利用可能である。これらは、果物及び野菜等の農産物に特に有用であるが、このような農産物の運搬及び貯蔵に制限されない。

【0 0 0 3】

既知の折り畳み式容器には、使用のための組み立て並びに貯蔵及び搬送のための折り畳みが比較的複雑であるという欠点があり、結果としてユーザに広く受け入れられていない。さらに、既知の折り畳み式容器は、強度及び剛性を欠くことが多く、結果として使用時に変形し易いことで中に入っている商品が損傷を受けることになる。したがって、このような既知の容器は、永久梱包システム又は永久貯蔵システムにも適していない。

20

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0 0 0 4】**

したがって、上述の欠点を克服するか若しくは少なくとも最小にするようにする、又は既知の容器の有用な代替物を提供する、新規の容器及びその補強コーナポストを提供することが、本発明の目的である。

30

【課題を解決するための手段】**【0 0 0 5】**

本発明によれば、容器と共に用いるのに適した補強コーナポストにおいて、容器は、底部パネルと、一対の対向する側壁パネル、及び一対の対向する端壁パネルを有する折り畳み式ブランクから成り、側壁パネル及び端壁パネルは、対向する側壁及び端壁を画定して前側壁及び端壁の接合部にコーナが形成されるように底部パネルに対して直立位置に折り曲げ可能であり、補強コーナポストは、容器の全ての又は選択されたコーナに設けられる、補強コーナポストであって、コーナを囲む外側ポストセクションと、コーナ内に収まる内側ポストセクションと、外側ポストセクション及び内側ポストセクションの互いに対する係合位置への長手方向変位によって外側ポストセクション及び内側ポストセクションを互いに解除可能に結合する係合手段と、内側ポストセクション及び外側ポストセクションを係合位置で固定するロック手段とを備えることを特徴とする、補強コーナポストが提供される。

40

【0 0 0 6】

内側ポストセクション及び外側ポストセクションがそれぞれ、互いに対して角度を成してコーナ形成部を画定するように長手方向接合部で合わさるほぼ平面状の長手方向延出リーフ要素を有することが好ましい。リーフ要素が、横断方向補強リブ及び／又は長手方向補強リブを含むことも好ましい。

【0 0 0 7】

本発明によれば、さらに、係合手段は、一方のポストセクションから延びており、内側

50

ポストセクション及び外側ポストセクションが長手方向に相対変位すると他方のポストセクションの相補的な形成部と係合する舌要素を含む。

【 0 0 0 8 】

好適な構成では、舌形成部は、内側ポストセクションから外方に延びると共に外側ポストセクションに設けられる対応する長手方向スロットと係合する。

【 0 0 0 9 】

したがって、一構成では、舌形成部は、内側ポストセクションから延び、舌形成部のそれぞれが、内側ポストセクション及び外側ポストセクションが係合位置に長手方向に相対変位すると外側ポストセクションの対応するスロットによって係止保持されるようになっているヘッド形成部で終わる。

10

【 0 0 1 0 】

本発明によれば、さらに、舌形成部のヘッド形成部と係合するスロットの少なくともいくつかは、舌形成部をスロット形成部内のより深くまで引き込むように働くランプセクションを含む。本発明のこの特徴の結果として、内側ポストセクション及び外側ポストセクションは挟むように内側ポストセクション及び外側ポストセクションに囲まれる容器のコーナを挟むように、好ましくは締め付けるように互いに引き寄せられる。

【 0 0 1 1 】

同じく本発明によれば、内側ポストセクション及び外側ポストセクションの一方に、好ましくは外側ポストセクションに、容器のコーナの下に延びようになっている下面プラットフォーム構造体が設けられ、下面プラットフォーム構造体に、係合位置にある内側ポストセクション及び外側ポストセクションを留めるように内側ポストセクションの対応する係合形成部によって係合される係合形成部が設けられる。好ましくは、プラットフォーム構造体の係合形成部は、本質的に使用時にスピゴットを受け入れる1つ又は複数の開口であり、スピゴットは、内側ポストセクションから延びると共に、開口内に留まる外向きカラーを有する。本発明のこの構成は、内側ポストセクション及び外側ポストセクションをそれらの係合位置に留める働きをする。

20

【 0 0 1 2 】

本発明は、内側ポストセクション及び外側ポストセクションを係合位置に固定するさらなるロッキング手段を提供することができ、このようなロッキング手段は、外側ポストセクションの内周に従う溝路内に受け入れ可能なディスクを含み、ディスクに内側ポストセクションが当接して、内側ポストセクション及び外側ポストセクションの間の長手方向相対変位が防止されることが想定される。

30

【 0 0 1 3 】

補強コーナポストの所定位置にディスクをロックする保持手段が設けられることが本発明の好適な特徴である。一構成では、このようなロッキング手段は、溝路に設けられる段構造体と係合するフック形成部を含むことができる。さらに、ディスクは、内側ポストセクションの直立スピゴット形成部が通って延びると共に、スナップ型ロッキング作用で係合する開口を有することができる。

【 0 0 1 4 】

本発明のさらなる特徴は、容器の上面よりも上に突出して上に重なる容器の下側区域を受け入れるスタッキングコーナを構成するように、外側ポストセクションを延ばすことを含む。このようなスタッキングコーナは、複数の積み重ねられた容器を安定させることが分かっている。

40

【 0 0 1 5 】

上述のようなコーナポストを有する容器も本発明の範囲内に含まれる。

【 0 0 1 6 】

本発明をより明確に説明するために、本発明の範囲を限定することなく一例として本発明の実施形態を後述する。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 7 】

50

図面を参照すると、本発明による折り畳み式容器 13 は、底部パネル 10、対向する側部パネル 11、及び対向する端部パネル 12 を有するブランク 15 から成り、側部パネル 11 及び端部パネル 12 は、容器 13 の対向する側壁 11 及び対向する端壁 12 を形成するように底部パネル 10 に対して直立位置に折り曲げられるようになっている。容器 13 のコーナ 14 は、図示のように側壁 11 と端壁 12 との交線に形成される（図 2、図 3）。

【0018】

図 2 ~ 図 4 は、図 1 のブランクを折り曲げて図 4 に示すような補強コーナポスト 17 を有する組み立て済み容器にするために踏まれる様々な段階を示す。図 2 ~ 図 4 の容器は、端部パネル 12 a を開位置に折り曲げることを可能にするための折り線 12 e に沿って蝶 10 着されている 1 つの端部パネル 12 a を含む。パネル 12 a は、端部タブ 12 d 及び操作開口 12 c を有する。側部タブ 12 b が、フロアパネル 10 に直角に蝶着され、側部パネル 11 と共にコーナ 14 を形成する（図 3）。このタイプの構成は、容器の内部へのアクセスが必要となる貯蔵システムに特に適している。このような貯蔵容器には通常は、35 で示す蓋構造体が設けられる。このような蓋構造体 35 は、本開示に全て含まれる様々な形態をとることができ、端壁 11 の一方から枢動して、図示されていない適当なタブによって他方の端壁 11 に固定されることができる。

【0019】

容器の全ての又は選択されたコーナ 14 が、複合補強コーナポスト 16 によって補強されることが、本発明の特徴である。各補強コーナポスト 16 は、コーナ 14 の外側を囲む 20 外側ポストセクション 17 と、コーナ 14 内の止まり嵌めである内側ポストセクション 18 とから成るため、コーナ 14 は、使用時に外側ポストセクション 17 と内側ポストセクション 18 との間に挟まれるようになる（図 2 ~ 図 4）。したがって、各ポストセクション 17、18 は、コーナ 14 の直角形状に一致するように長手方向接合部 17 b、18 b において互いに対して直角の角度を成している一対の長手方向リーフ形成部（formations）17 a、18 a を有する。好ましくは、ポストセクション 17 には、セクションを補強するために複数の離間した横断リブ形成部 17 c が設けられる。ポストセクション 17 には、ポストセクション 17 の成形材料を節約するために適当な位置に開口の形態の切欠部 17 d も設けられ得る。

【0020】

各内側ポストセクション 18 が、一方のセクションから延びて他方のセクションの相補的な係合手段と係合する係合手段によって関連の外側ポストセクション 17 に結合されることが、本発明の特徴である。係合手段は、内側ポストセクション 18 及び外側ポストセクション 17 が図 8 及び図 10 に示す係合位置に長手方向に相対移動すると互いに解除可能に係合する。好ましくは、係合手段は、内側セクション 18 から横方向に突出して外側ポストセクション 17 に設けられた対応する一連のスロット形成部 20 と係合する、一連の舌要素 19 を備える。このような構成では、各舌要素 19 が、ポストセクション 17、18 が係合位置になると対応するスロット形成部 20 に係止保持されるヘッド形成部 19 a で終わることが好ましい。したがって、スロット形成部 20 は、図 8、図 10、及び図 40 11 に示すように上述のヘッド形成部 19 a のアクセスを可能にするために形成されるが、内側ポストセクション 18 及び外側ポストセクション 17 が互いに対して長手方向に係合位置に移動するとヘッド形成部 19 a を捕らえるように狭い構成で終わることが想定される。

【0021】

好ましくは、同じくスロット形成部 20 は、ヘッド形成部 19 a と係合するランブ 20 a を含み、これは、舌 19 をスロット形成部 20 内のより深くまで引き込むように働くことにより、内側ポストセクション 18 及び外側ポストセクション 17 を互いに引き寄せ、容器 13 のコーナ 14 をポストセクション 17、18 間で係合位置に締め付ける役割を果たす。したがって、舌要素 19 は、コーナ構造体 14 を提供するように交わる側壁パネル 11 及び端壁パネル 12 に設けられる開口 21 を通ることが想定される（図 2、図 3）。 50

【 0 0 2 2 】

上記の構成は、ポストセクション 17、18 を係合位置に移動させると、内側ポストセクション 18 と外側ポストセクション 17 との間に嵌まる側部パネル 11 及び端部パネル 12 の端部区域が内側ポストセクション 18 と外側ポストセクション 17 との間で圧縮されるか又は締め付けられるという利点を有することが分かっている。したがって、このような構成から小型コーナ構成が得られる。

【 0 0 2 3 】

好ましくは、上述のように、舌要素 19 は内側ポストセクション 18 から延び、スロット形成部は外側ポストセクション 17 に画定されるが、逆もまた可能である。

【 0 0 2 4 】

代替的な構成では、舌要素 19 は、容器 13 のコーナ形成部 14 の材料を貫通するようになり、このような貫通を可能にするのに適した材料が容器 13 に用いられ得る。

【 0 0 2 5 】

同じく本発明によれば、内側ポストセクション 18 及び外側ポストセクション 17 を係合位置に移動させるとクリップイン作用を提供する手段が設けられる。好適な構成では、足片 21 の形態の下面プラットフォームが、外側コーナセクション 17 の下側区域に設けられ、容器 13 のコーナ 14 の下に嵌まる。足片 21 には 1 つ又は複数の開口 22 が画定され、対応するスピゴット(spigot) 23 が、内側ポストセクション 18 から延びて開口 22 に取り外し可能なクリップイン式に係合する。好ましくは、スピゴット 23 は、図 5 に示すように、内側コーナセクション 18 の下側区域に形成される同様の足片 24 から延びる。スピゴット 23 が底部パネル 10 のコーナの開口 25 (図 1) を通ることが想定される。

【 0 0 2 6 】

図示の構成では、スナップイン効果は、スピゴット 23 の先端にヘッド形成部 23a を設けて、ヘッド形成部 23a が開口 22 を通るとこれらが開口 22 の周辺領域と係合してこのような周辺領域がスピゴット形成部 23 を包囲するようにすることによって生み出される。

【 0 0 2 7 】

本発明はさらに、ポストセクション 17、18 が係合位置になると、取り外し可能なロッキングディスク 26 がポストセクション 17、18 に跨って(intersect)セクション 17、18 の長手方向移動を防止するようにする。したがって、一構成では、外側コーナセクション 17 の上側区域にその内周に沿って溝路 27 が形成され、コーナ 14 の上縁 14a のわずかに上に延びる。溝路 27 は、ロッキングディスク又はロッキングプレート 26 を受け入れるようになっており、このようなロッキングディスク 26 は、内側ポストセクション 18 及び外側ポストセクション 17 の長手方向相対移動を防止するように働く。

【 0 0 2 8 】

図 5、図 8、図 9、図 12、及び図 13 を参照すると、好適な構成では、ロッキングディスク 26 には、図 5 に示すようにそのコーナ形成部の各部分に設けられる前方延出舌形成部 30 が設けられる。各舌形成部 30 は、嵌め合い段形成部 31a が設けられるスロット 31 と係合するようになっている垂下フック形成部 30a で終わることが好ましい。したがって、所定位置にあるとき、舌形成部 30 のフック 30a が外側ポストセクション 17 の開口 31 の段形成部 31a に引っ掛かる。このように、外側ポストセクション 17 の延長部 32 をわずかに変形させなければロッキングディスク 26 をそのロック位置から取り外すことができないことが分かっている。図 13 を参照すると、ロッキングディスク 26 は、ポストセクション 17、18 間の長手方向移動を防止しながらそれ自体がこのようにしてその位置に取り外し可能にロックされている。

【 0 0 2 9 】

図示の一構成では、内側ポストセクション 18 は、内側ポストセクション 18 の底部区域と同様に 2 つの長手方向延出スピゴット形成部 29 を含むことができるため、ポストセクションは実際には上下可逆である。したがって、上方延出スピゴット形成部 29 も、使

10

20

30

40

50

用時にロッキングプレート 26 の開口 28 を通って突出するヘッド形成部 29a で終わる。各開口には、平面図で見て狭くなってからロッキングディスク 26 (図 5) の湾曲端に向かって広がり得るウェブ 28a が設けられることが好ましいため、ロッキングプレートをそのロック位置に変位させるとスピゴット形成部 29 のヘッド形成部 29a がウェブ 28a と係合してスナップ型ロッキング作用をもたらす。したがって、第 1 にフック形成部 30a と、第 2 に内側ポストセクション 18 のスピゴット形成部 29 と、ロッキングディスク 26 自体の二重ロッキングが行われる。他の構成も確かに可能であり、これらは全て本発明の範囲内に入ることが想定される。

【0030】

コーナポストを図 9 に示すそのロック位置から分解するためには、ロッキングディスク 26 を水平方向に変位させて内側ポストセクション 18 のスピゴット形成部 29 から解除した後で、内側ポストセクション 18 を外側ポストセクション 17 に対して摺動移動で持ち上げることにより、舌 19 をスロット形成部 20 から係脱させる必要がある。こうして解除されると、内側ポストセクション 18 を外側ポストセクション 17 から横方向に引き抜くことができる。

【0031】

本発明の新規の構成では、容器 13 の組み立て及び分解を容易に自動化することができることが分かっている。特に、容器 13 の組み立て及び分解の両方が容易になる。

【0032】

各組み立て済みコーナポスト又は選択された組み立て済みコーナポストが、上に重なる同様の容器の底部を受け入れ可能である上方突出スタッキングコーナ 32 を形成し得ることが、本発明のさらなる特徴である (図 4)。このような構成は、図面に示されており、組み立て済みの補強ポスト部材から上方に突出する長手方向延長部 32 が、外側補強ポストセクション 17 上に設けられている。

【0033】

添付の特許請求の範囲に記載の原理から逸脱せずに本発明の詳細の変形形態が存在することは確実である。

【図面の簡単な説明】

【0034】

【図 1】本発明による折り畳み式容器の一部を形成するシート材料のブランクの平面図である。

【図 2】側壁パネル及び 1 つの端壁パネルが直立位置に折り曲げられており、2 つのコーナポストが部分的に取り付けられている、本発明による部分的に組み立てられた折り畳み式容器の概略斜視図である。

【図 3】2 つの補強コーナポストが部分的に取り付けられる状態まで組み立てられている、図 2 の容器の概略斜視図である。

【図 4】完全に組み立てられた構成であるが、代替構成である蓋は図示されていない、図 2 のカートンの概略斜視図である。

【図 5】図 2 の容器と共に用いられる補強コーナポストの外側セクション及び内側セクションの概略斜視図である。

【図 6】図 2 の容器の補強コーナポストを形成するように外側セクション及び内側セクションを互いに結合するための連続的段階の 1 つを示す、図 5 の外側セクション及び内側セクションの概略立面図である。

【図 7】図 2 の容器の補強コーナポストを形成するように外側セクション及び内側セクションを互いに結合するための連続的段階の 1 つを示す、図 5 の外側セクション及び内側セクションの概略立面図である。

【図 8】図 2 の容器の補強コーナポストを形成するように外側セクション及び内側セクションを互いに結合するための連続的段階の 1 つを示す、図 5 の外側セクション及び内側セクションの概略立面図である。

【図 9】図 2 の容器の補強コーナポストを形成するように外側セクション及び内側セクシ

10

20

30

40

50

ョンを互いに結合するための連続的段階の 1 つを示す、図 5 の外側セクション及び内側セクションの概略立面図である。

【図 10】図 7 及び図 8 に示す外側セクション及び内側セクションを接続する段階をより詳細に示す概略立面図である。

【図 11】図 7 及び図 8 に示す外側セクション及び内側セクションを接続する段階をより詳細に示す概略立面図である。

【図 12】図 8 及び図 9 に示すロッキングディスクを所定位置に挿入する段階をより詳細に示す概略立面図である。

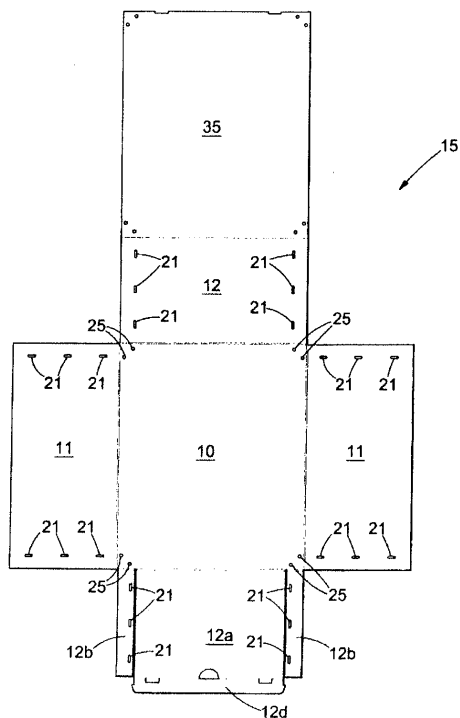
【図 13】図 8 及び図 9 に示すロッキングディスクを所定位置に挿入する段階をより詳細に示す概略立面図である。

【図 14】図 7 の線 X I V - X I V で取ったコーナポストの概略断面図である。

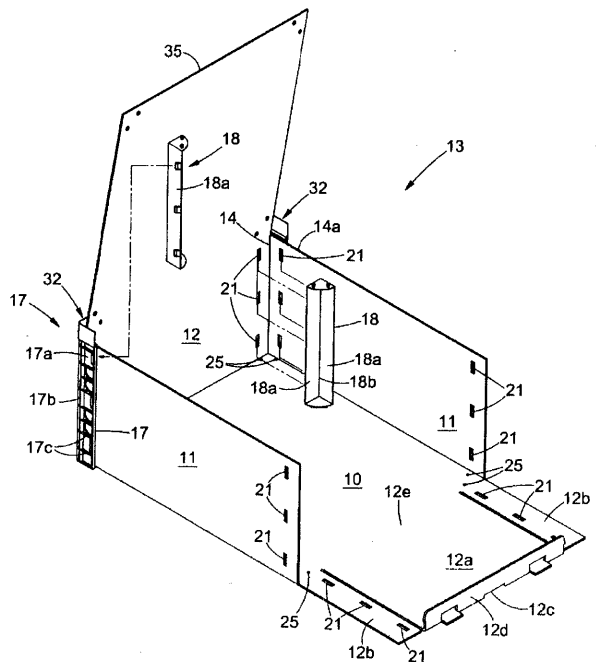
【図 15】図 8 の線 X V - X V で取ったコーナポストの概略断面図である。

10

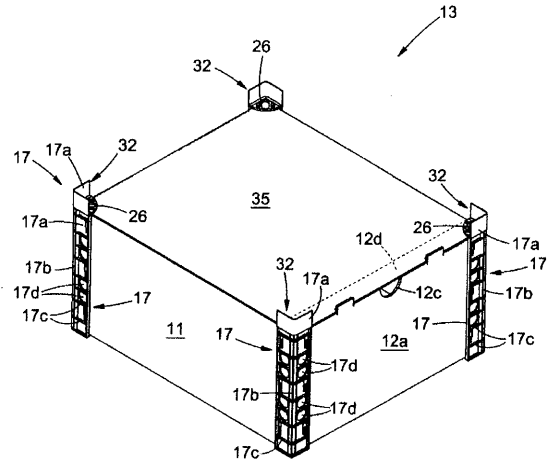
【図 1】



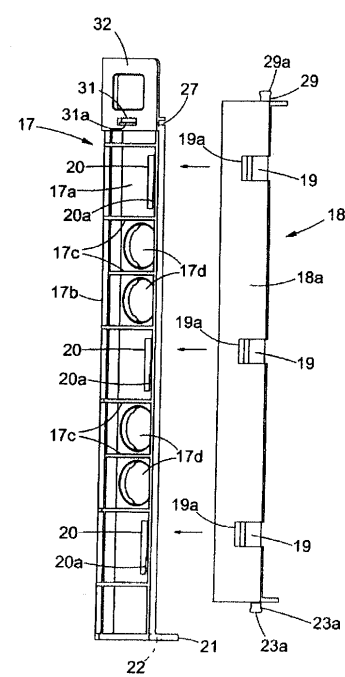
【図 2】



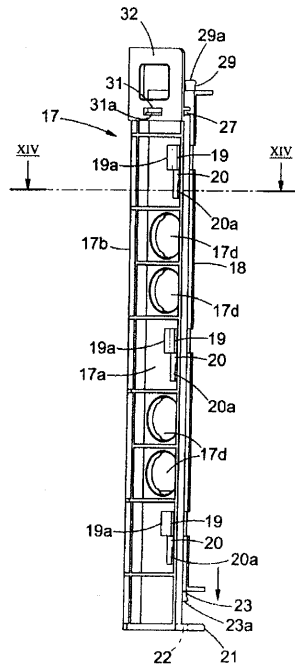
【 図 4 】



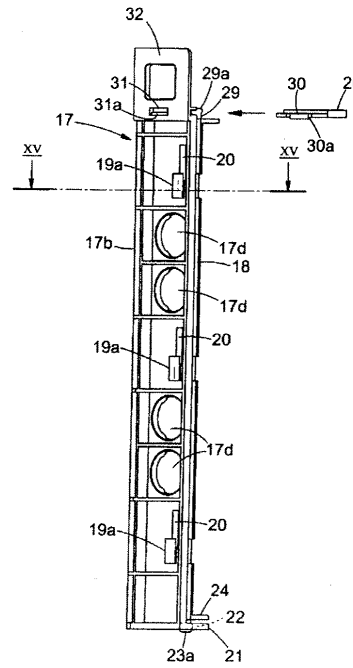
【 図 6 】



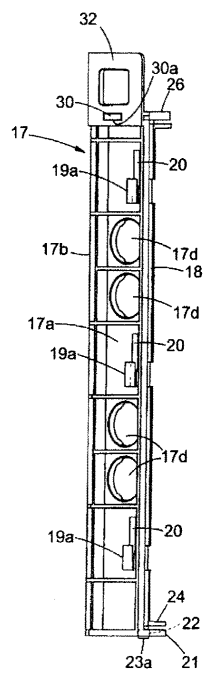
【図 7】



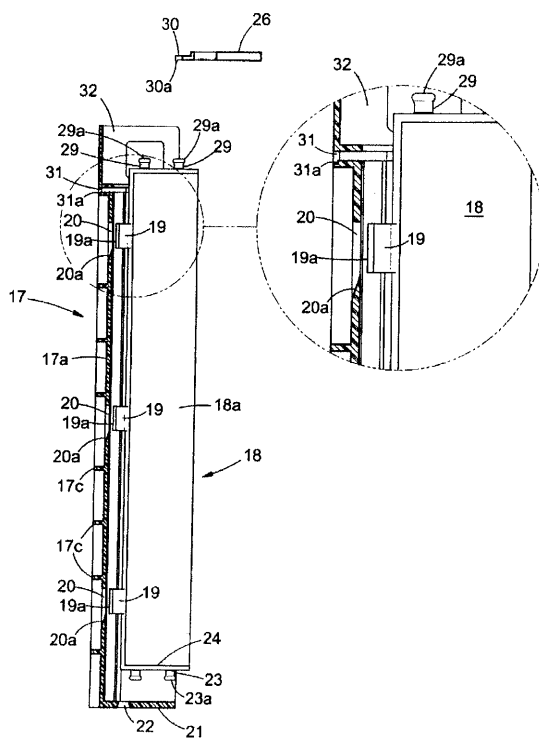
【図 8】



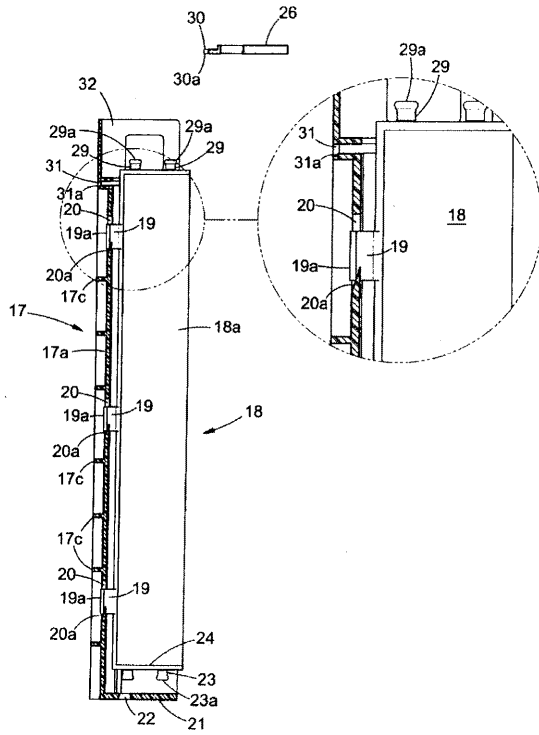
【図 9】



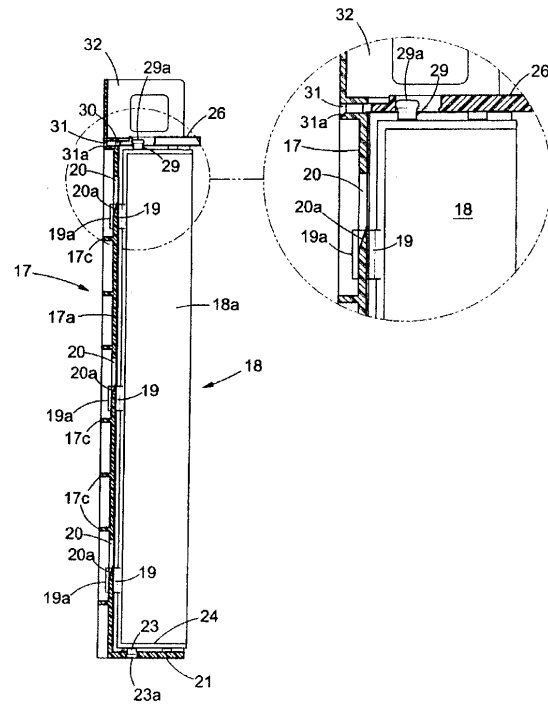
【図 10】



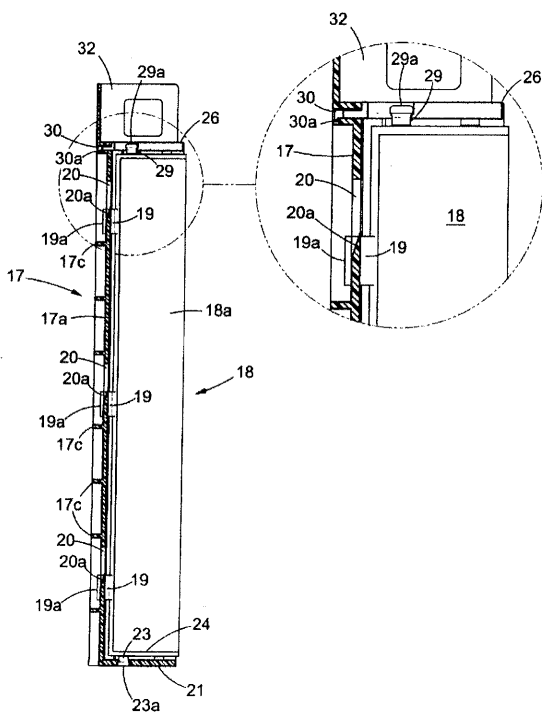
【図 1 1】



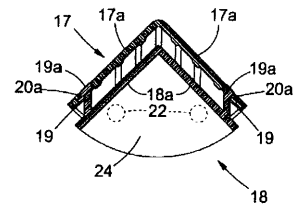
【図 1 2】



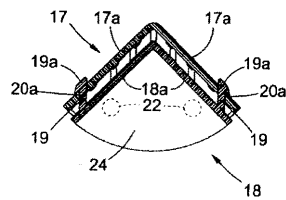
【図 1 3】



【図 1 4】



【図 1 5】



フロントページの続き

(74)代理人 100107401

弁理士 高橋 誠一郎

(74)代理人 100106183

弁理士 吉澤 弘司

(74)代理人 100120064

弁理士 松井 孝夫

(72)発明者 マックアルビン, ジルロイ クレメンツ

南アフリカ共和国, 1 5 0 1 ベノニ, レイクフィールド, トルクエイ ストリート 8 4

(72)発明者 アルゲート, ダニエル ロバート

南アフリカ共和国, 1 6 1 9 ケンプトン パーク, アストン マナー, コンコーズ クレセント
6 4

審査官 杉山 健一

(56)参考文献 実公昭46-025170(JP,Y1)

実公昭50-003628(JP,Y1)

実開昭49-129917(JP,U)

特開2003-095260(JP,A)

実開昭52-010139(JP,U)

実開昭53-045124(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 5/00- 5/76